

高根沢町のキャッシュ・フロー計算書【普通会計】（平成１８年度）

キャッシュ・フロー計算書とは

キャッシュ・フローとは、資金の増加又は減少を意味し、**一会計年度における資金の流れを表示したものがキャッシュ・フロー計算書**です。この計算書は、行政活動を資金の流れからみたものであり、**年度初めと年度末の資金（財政調整基金・減債基金、及び歳計現金）の増減内訳を一覧表にしたもの**といえます。

企業会計において作成されるキャッシュ・フロー計算書は『営業活動』『投資活動』『財務活動』の３つに区分されており、この活動区分別に資金調達源泉、及びその用途を明確にすることによって、それぞれの活動別キャッシュ・フローの内訳、及びその収支状況が把握可能となっています。

このキャッシュ・フロー計算書も企業会計にならい、次の３つの活動区分によりキャッシュ・フローを表示しています。

〔１〕 行政活動によるキャッシュ・フロー

税収、施設使用料、交付金などの収受、人件費や物品の購入、建物維持管理支出など、投資活動・財務活動以外の取引による経常的に行われる行政活動から発生するキャッシュ・フローを表したものです。

この黒字額が小さい場合には、財政構造が硬直化していると考えられ、行政活動支出の削減に努めることが必要となります。

前年度と比較すると、**１２．４％の増加**となり、物件費、維持補修費、扶助費等の経常経費は増加しているものの、税収等の収入増により黒字額が増加しましたが、さらなる経常経費の削減に努めなければなりません。

〔２〕 投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得及び売却、固定資産の取得財源としての国・県支出金、外郭団体への出資・貸付による収支といった投資的なキャッシュ・フローを表したものです。

行政活動と投資活動のキャッシュ・フローの合計額がマイナスになる場合には、その投資支出が借入金などの外部資金によって賄われることとなるため、将来キャッシュ・フローの計算などを見据えた慎重な検討が必要となります。

前年度と比較すると、有形固定資産取得のための投資的経費（北小学校建設事業等）が８８．９％の大幅増加により**２６．９％の増加**となりましたが、行政活動によるキャッシュ・フローの範囲内でのみ投資活動が行われてはいますが、計画的な投資及び資金計画が必要となります。

〔３〕 財務活動によるキャッシュ・フロー

行政活動、投資活動の結果から生じたキャッシュ・フローの差額をどう補ったかを示すもので、地方債の発行・償還による収支を表したものです。

前年度と比較すると、**１７．６％の減**となり、北小学校建設事業等の投資活動が２６．９％の増となりましたが、税収の増もあって、地方債の発行も最小限に抑制し、償還額以内の地方債の発行により残高が減少しましたが、さらなる公債費削減のための計画が必要となります。